

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel.045-894-7474

畑づくりの体験

平成元年頃から自宅の近くで少しずつ空き地を借りて耕してきました。宅地の中の空き地を借りていたものから、地主の事情により 4 回も転地を余儀なくされました。そのたびに草の根を取り除き、葛や藪枯らし、ススキの根を掘り起こし、がれき・小石を集めて、軟岩は砕き、ふるい分けして荒地を農地にして来ました。広さは約 50 坪を 3 回転々として来ましたが、一昨年約80坪の土地を借りました。これは 1 年以上荒地になった土地で草の根、藪枯らしの根が多く取り除くのに大変苦労しました。特に藪枯らしの根は生命力がつよく、地中深くもぐり、数センチの根でも残っていると春には芽を出してきます。また、小石も多く、少し深く鍬を入れると小石が出て来ます。今年は少し時間が取れるので篩分けて行こうと思います。

生産物は比較的多品種少量主義です。ナス科、マメ科、ウリ科、ユリ科をローテーションして植えるように考えていますが、ついついバランスが崩れてしまいます。特に種を買くと植え過ぎが多くなってしまいます。この畑は冬南側隣に杉林があり、日照の点で不利です。2月半ばまでは夕方でも氷が残っています。従って冬3カ月は休耕時期であります。冬は指先が赤切れになり、足は寒さで痛みます。夏は暑さ・雑草との戦いです。真夏はパラソルを立ててラジオを聞きながら草むしりをしています。

私は畑にいると一日居ても飽きることはありません。畑の脇に蒔の臺、野蒜、ヨモギ、三つ葉、ウド、たらの芽、ふきの茎、みょうがの芽、みょうがの花など四季の味わいも楽しんでいます。ところが天敵も多く、害虫(夜盗虫、青虫、アブラムシ、ナメクジ)、カラス、ムクドリ、わたりヒヨドリの群れ、台湾リス、野ネズミ、モグラ、最近夜ハクビシンも出没し、なかなか対抗出来ません。葉野菜、甘い実の成るもの、芋の類はどうしても天敵に狙われます。でも農薬は使いません。無農薬、無化学肥料の野菜作りが私のこだわりです。取り立ての野菜を農薬の心配なしに戴けるのは気持ちいいものです。堆肥づくりも力仕事で大変ですが、野菜作りには大切なものから、公園の落ち葉等を集めて作ります。置ほぐしも面倒ですが結構工夫して楽しくやっています。ミミズがいると安心して野菜が作れると思っていますが、モグラがこれを狙ってきます。モグラの穴は時に水害を起こします。モグラの穴を見つけたら、早目につぶしておかないと、大雨が降った時畑に大きな穴が生じて土砂が流出してしまうのです。収穫は当たり外れが多く、さやえんどう、胡瓜等は一時取れるのに早く茎が痛んでしまいます。また台風などで全滅することもあります。野菜作りで生計を立てている農家の人の苦労が身をもって感じられる次第です。

山林

1. 2013. 5月の主な活動報告

- ① 5月1日(水) 10名 SF 後片付け
- ② 5月4日(土) 16名 製材、竹林整備、除伐材引上げ
- ③ 5月8日(水) 12名 9号緑地調査、ログソール整備、薪割り、窯修理
森の恵みコーナー制作
- ④ 5月11日(土) 5名 ドラム缶窯修理、竹トンボ制作、小屋内整理、
栄高校と打合せ
- ⑤ 5月15日(水)12名 シイタケ床整備、廃材整理
- ⑥ 5月18日(土)18名 除伐材引上げ、竹林整備、炭材作り、運営会

2. 運営会報告

- ① 日清オイリオのボランティア体験を6月22日に行う。8名で対応し、主にトウネズの除伐(手切り)と草刈を予定。
- ② 6月8日(土)13時からZFCが主催してAEDの講習会を行う。友の会のグループにも声をかけて参加者を募る。
- ③ 森を守る作業体験の間伐体験を7月27日に開催し新聞等で参加者を募る。
- ④ 例年行っている聾学校への慰問を今年も8月9日に行う。竹の水鉄砲や竹トンボ制作に必要な真竹の採取が必要。
- ⑤ 課題となっている桜林をどうするかについて7月20日15時からZFCとセンターで相談会を開催する。

3. 6月の活動予定

- ① 6月1日(土) 製材、シラカシ伐倒、駐車場・倉庫周辺草刈、炭出し
- ② 6月5日(水) 並木第四小学校「炭窯」見学(杉戸さん対応)
- ③ 6月8日(土) 製材、シラカシ伐倒、シイタケ本伏せ、、AED講習
- ④ 6月12日(水)シラカシ材後片付け、炭材作り、森のコーナー設置
- ⑤ 6月15日(土)クヌギ林草刈、炭材置き場整理、9号緑地立ち枯れ木伐倒
運営会
- ⑥ 6月19日(水)炭材作り
- ⑦ 6月22日(土)ドラム缶炭焼、製材、日清オイリオ対応
- ⑧ 6月26日(水)シラカシ伐倒材片づけ
- ⑨ 6月29日(土)道具類の整備、炭出し

以上